

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		災害時要援護者対策の推進				所管	福祉部 高齢福祉課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	81	計画事業名	災害時要援護者対策の推進		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-1. 個性を活かしたまちづくりの推進					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (4)危機管理と安全・安心の充実強化					[事業開始] 平成 2 4 年度	
		[施策] ② 災害への総合的対応力の向上[33]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	要綱		[法令等名]	台東区要援護高齢者災害時等支援検討会設置要綱			
	事業対象	災害時に援護を要する高齢者						
	事業目的	災害時に援護を要する高齢者に対し、個別支援プランを策定し、関係者との連携を図ることにより、区民が安心して住み続けられる地域社会をめざす。						
	事業内容	・「要援護高齢者災害時等支援検討会」を開催し、要援護者支援対策の課題の解決策を検討する。 ・台東区が作成した災害時要援護者名簿に登録されている65歳以上の高齢者で、在宅で生活している要介護3・4・5の認定を受けた方を対象に、個別支援プランを策定する。 ・個別支援プランの作成にあたっては、調査目的等に個人情報の取扱い同意を得た場合とする。						
委託の有無	一部委託		委託内容	個別支援プラン調査を居宅介護支援事業所に委託する。				
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	検討会開催回数 (回)		2	—	3	2	
		個別支援プラン策定件数(25～27年度のべ) (件)		1,900	—	100	322	
	決算額 (単位：千円)				(430)	258	1,056	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)		(3,600)	3,877	4,261		
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)		(430)	130	976		
		その他のコスト (扶助費・補助費など)		0	0	80		
		総経費		(4,030)	4,007	5,317		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)		0	0	0		
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)		0	258	1,056		
一般財源 (区負担額)		4,030	3,749	4,261				
前年度から改善した事項		個別支援プラン調査票の内容を充実させた。避難所や避難場所の項目や、安否確認者を昼間と夜間に分け、一日のうち一人になる時間などの項目を追加した。						
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	災害発生時に要援護高齢者の救護・救援活動を迅速かつ円滑に行う体制を整備するため、本事業の必要性は高い。					
	効率性	3	個別支援プランの調査を区内居宅介護事業所に委託しているが、介護サービスを利用していない人や区外居宅介護支援事業所を利用している人の対応が難しい。					
	手段の適切性	3	調査は居宅介護支援事業所に委託している。調査対象者のケアプラン作成などを担当している介護支援専門員が聞き取り調査を行うため、適切な実態把握が期待できる。しかし、この手段では、介護サービスを利用していない人など、把握できない対象者がいる。					
	目的達成度	1	調査票の見直しをした為、期間が短く目標1,000件のところ、322件の個別支援プランを策定にとどまった。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
区外居宅介護支援事業所に個別支援プランを委託し、調査期間や調査方法、サービスを受けていない要介護者の対応など、調査件数を増やす検討を行う。						改善		